

コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年3月27日（金）17時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

3月27日（金）発表

- サンパウロ州内の感染者数は1223人、死亡者数は69人（うち68人がサンパウロ大都市圏、1人がリベイロン・プレット市）。
- サンパウロ州政府は、コロナウイルス対策を支援するため、サンパウロ市に5千万レアルの資金供与を決定。同資金はサンパウロ市が準備中の以下仮設病院の建設等に充てられる予定。人口10万人以下の州内各市に対しても計4千万レアルを資金供与。これらを加えた州政府による累計の供与金額は3億900万レアル。
- サンパウロ市はパカエンブー・スタジアムの仮設病院に200床を準備し、520人の医療従事者が勤務予定。同じくアニェンビー国際展示場の仮設病院に1800床準備、2100人の医療従事者が勤務予定。パカエンブーの仮設病院は4月1日（水）に患者受け入れを開始。
- サンパウロ州交通局及びサンパウロ市交通局は、大型トラックの車両・積載物重量測定所をトラック運転手の支援・休憩所として使用することを決定。6月30日まで。
- 27日（金）、サンパウロ市経済開発局・労働局の関係機関「Ade Sampa（サンパウロ開発機関）」は、サンパウロ州政府の中小企業支援プログラム「バンコ・ポーヴォ」と連携し、コロナウイルスによる経済的影響を受けた中小企業を対象に、2500万レアルの新規与信枠を設定。利用者は審査を通じ、200レアルから2万レアルの融資が受けられる。申し込み等は電話。
- （ゲルマン州保健局長発言）サンパウロにおける感染者の増加率は、ブラジル全体の増加率より低い。これはサンパウロ州が社会的隔離という正しい対策・措置をとっているため。同措置を緩めるべきではない。
- （サンパウロ市保健局長発言）サンパウロ市は医療従事者と入院患者のために10万個の簡易テストを入手済み。また、今後5つの研究所（ラボ）と提携し、一日600件のPCR検査が実施可能となる予定。

2 マット・グロッソ州

3月27日（金）発表

- 同州政府は、コロナウイルス対策に必要な商品（70%アルコールジェル、手袋、マスク、薬等）やサービスの価格を不当に値上げした場合、1～5万レアルの罰金を科す旨発表。また、こうした商品に掛かるICMS（商品流通サービス税）を6月30日まで免除。同措置は状況に合わせて延長の可能性有り。
- 27日現在の州内の感染者数は11人、感染疑いは556人、死者はなし。

3 マット・グロッソ・ド・スル州

3月27日（金）発表

- 27日（金）、州政府は、州内79の市町村に対し、コロナウイルス関連対策費として、総計7900万レアルの資金供与を決定。
- 27日（金）より、州都カンポ・グランデ市のレストランは営業再開。店内の衛生管理を適切に行いつつ、最大客席の30%で営業。テーブルの間は2メートル空けるとともに、従業員はマスクや手袋等を要使用。宝くじ売り場（ロテリカ）は30日（月）より営業再開。レストラン同様の衛生管理が必要。
- 27日（金）、カンポ・グランデ市は2016年及び2019年に実施した公務員採用試験で補欠となっていた医療従事者等計145人の採用を発表。市の医療体制の強化が目的。 （了）